

# 文-14

# Vましょう

V ましょう

## 基 本

### 例 文

① A: いっしょに帰<sup>かえ</sup>りましょう。

B: はい。

② さあ、歌<sup>うた</sup>いましょう。

③ A: いっしょに昼<sup>ひる</sup>ごはんを<sup>た</sup>食べませんか。

B: はい、食<sup>た</sup>べましょう。

④ A: プールへ行<sup>い</sup>きませんか。

B: いいですね。行<sup>い</sup>きましょう。

### 解 説

A. Vは、「行<sup>い</sup>きます 行<sup>い</sup>き」のように「Vます」から「ます」をとった形。

B. 何かをしよう<sup>なに</sup>と誘<sup>さそ</sup>うときに使う。(例文①②)

C. 誘<sup>さそ</sup>いを受け入れる返<sup>う</sup>事<sup>い</sup>をするときに使う。(例文③④)

### 先生へ

話し手の意志を表すときに使う。

話し手の気持ちを表し、聞き手の気持ちをたずねていないので、やや強引な誘いの表現である。よっ

て、聞き手が誘いを受け入れる可能性が高いときに使った方がよい。

誘いの表現の「Vませんか」と比較すると、質問の形で聞き手の気持ちをたずねている「Vませんか」

の方が丁寧な表現。

指示をするときに使うこともある。

例(授業を始めるとき)始めましょう。

誘いの返事の「Vましょう」は、「Vませんか」といっしょに教えるとよい。

#### 【関連項目】

文-03 Vます

文-15 Vませんか

#### 【「れんしゅう編」の練習】

5-7 映画を見に行きませんか

5-8 さそいましょう